

男女平等参画について考える

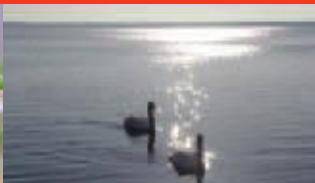
日本女性会議 2017 とまこまい

10/13 FRI 14 SAT 15 SUN

TOMAKOMAI CITY, HOKKAIDO

札幌
●新千歳空港
苫小牧

北の大地で語ろう これからの未来の一步を



平成29年10月
13 (金) 日

13:00 開会式
13:30 特別揮毫・講演
15:00 基調報告
15:30 記念講演
18:00 交流会

平成29年10月
14 (土) 日

9:30 分科会
12:30 アトラクション
13:00 特別講演
14:10 分科会報告
14:30 記念シンポジウム
16:00 閉会式

平成29年10月
15 (日) 日

エクスカージョン

[会場] 苫小牧市民会館・苫小牧市文化会館・グランドホテルニュー王子 ほか

10月13日(金)

13:00～13:30 開会式(受付 11:30～)
13:30～14:30 特別揮毫・講演
15:00～15:30 基調報告
15:30～16:30 記念講演
18:00～19:30 交流会

会場 苫小牧市民会館

開会式

13:00～13:30 (受付 11:30～)

特別揮毫・講演

13:30～14:30

ちがいはかけがえのない個性 ～ダウン症の娘と共に生きて～



金澤翔子さんは、ダウン症という障がいを持って産まれました。母泰子さんは、障がいの漠さをよそに周辺に優しい光を注ぐ力を持つ娘の存在に、むしろ癒されたそうです。5歳から始めた翔子さんの書は、多くのひとに感動を与え、親子の生きる希望となっていきました。昨年のプレ大会での泰子さんの御講演は、障がいとは何か、ちがいとは何かに気づかされ、聞く人を感動させました。今大会では、翔子さんによる揮毫も御披露いただき、参加者のみなさんとその感動を共有したいと思います。

金澤 泰子 ※写真左

金澤 翔子 ※写真右

東京芸術大学評議員
日本福祉大学客員教授

書家

基調報告

15:00～15:30

男女共同参画に関する最新の状況を報告します。(内閣府男女共同参画局)

記念講演

15:30～16:30

夢見る力 ～つながる幸せ～

山形県から舞台に恋をして上京。たくさんの人と出会い、支えあいながらも舞台の活動を続けています。「夢見る力」が、自分自身の幸せとなり、幸せがつながって、大きな輪となり未来へつながっていく……。誰もがいきいきと暮らせる社会を考える上でのヒントを実体験から生まれる等身大の言葉でお話していただきます。

渡辺 えり 劇作家 演出家 女優

山形県出身。舞台芸術学院、青俳演出部を経て、1978年より「劇団3〇〇(さんじゅうまる)」を20年間主宰。解散まで、劇作家・演出家・女優をつとめ、多くの話題作を発表した。1983年「ゲゲゲのげ～逢魔が時に揺れるブランコ」で第27回岸田戯曲賞、1987年「嘘の女～まだ見ぬ海からの手紙」で第22回紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。その後、舞台だけでなく、ドラマ、映画、エッセイなどの執筆活動、コンサート、情報番組でコメンテーターをつとめるなど、活躍の場を広げている。近年の出演作は、舞台「三婆」「黒塚家の娘」テレビ「100の資格を持つ女」など。今年1月には、作・演出の新作「鯨よ！私の手に乗れ」を東京シアターラムにて公演。



会場 グランドホテルニュー王子

交流会

18:00～19:30

地元音楽家が奏でる音色で皆様をお出迎えいたします。北の海、北の大地からの新鮮な食材を活かしたお料理とお酒をご堪能いただき、全国からお集まりの皆様と交流のひとときをお楽しみください。水揚げ日本一の苫小牧港のホッキ貝や、不老長寿の実ハスカップのデザートなど、苫小牧ならではの味をご用意して皆様をお待ちしております。また、開会前にほっと一息、茶席でおくつろぎください。

10月14日(土)

分科会 9:30~11:30 (受付9:00~)

1 分科会 【DV】 デートDV予防教育の実践 ~大切なあなたとつくる心地よい関係~

内容 女性の約4人に1人は、配偶者から身体的暴力や心理的攻撃などなんらかの暴力の被害を受けたことがあり、約10人に1人は何度も受けている状況にあります。あなたの周りにも声をあげられず苦しんでいる方がたくさんいます。社会全体が「DVは許さない」という認識を持ち、加害者も被害者も作らないために、若年層への予防教育は必要不可欠なものであると考えます。子ども達が成長し大人になる10年、20年先にDV被害を受けることのないようにこの問題をとともに考えます。

出演者 シンポジウム

講師兼シンポジスト	八幡 悦子	ハーティ仙台代表理事
コーディネーター兼シンポジスト	山崎 菊乃	北海道シエルトネット代表・おんのかスペースおん代表理事
シンポジスト	竹内 真子	DV心のケアhorohoro相談員

会場 グランドホテルニュー王子 白樺の間 **定員** 120人

2 分科会 【災害】 災害時に生きる私たちの「生き方」 ~「防災女子」は避難所を救う!~

内容 大規模災害の度に叫ばれる、女性の視点を取り入れた避難所運営の重要性。東日本大震災時に約3000名が生活した「ビッグパレットふくしま」(福島県郡山市)では、避難者・スタッフ「みんな」の人生経験を活かして課題解決が図られました。この時の経験から作成された教材「さすけなぶる」を通して、みんなの「生き方」を持ち寄って話し合い、日頃から女性の視点で災害時に必要なことを考える女性=「防災女子」を目指します。

出演者 ワークショップ

講師	定池 祐季	東北大学災害科学国際研究所災害復興実践分野助教
講師	天野 和彦	福島大学つくしまふくしま未来支援センター特任教授

会場 苫小牧市立苫小牧東小学校 体育館 **定員** 80人

3 分科会 【人権】 アイヌ民族の過去と いま、そして未来

内容 日本の先住民族であるアイヌの人々は、自然共生の世界観を持ち、活発な交易を行い、独自の言語や文化を継承しながら暮らしてきました。また、2020年には、隣町の白老町に、国立アイヌ民族博物館の開設が決まり、国内外に向けてのアイヌ文化発信拠点としての期待が高まっています。アイヌ民族の歴史を学び、現在の状況を正しく知る中で「人間らしく生きられる社会とは!？」を皆さんとともに考えます。

出演者 シンポジウム

講師兼シンポジスト	本田 優子	札幌大学地域共創学群教授
シンポジスト	多原 良子	札幌アイヌ協会副会長・アイヌ女性会議ノコモシ代表
シンポジスト	村木 美幸	アイヌ民族博物館専務理事
シンポジスト	阿部 千里	アイヌ・先住民族電影社代表

会場 苫小牧市美術博物館 **定員** 150人

4 分科会 【ワークライフバランス】 中小企業こそワークライフバランスの実践者だ! ~実態調査を通して見えた地域の未来~

内容 ワークライフバランスと聞くと、取り組めないという企業が多いですが、実際は本当にそうでしょうか?企業の大部分を占める中小企業の調査からは意外な事実が分かりました!! 苫小牧地域の調査報告、企業のワークライフバランスを専門とする講師の講演と課題提起、パネリストとの対話を通じて、ワークライフバランスへの向き合い方と「みんなが幸せになるワークライフバランス」についてみなさんと一緒に考えます。

出演者 パネルディスカッション

講師兼コーディネーター	金井 篤子	名古屋大学大学院教授
パネリスト	鏡 吉伸	北海道石商会常務取締役(ヒアリング協力企業)
パネリスト	櫻田 泰己	苫重建設(株)管理部副部長(ヒアリング協力企業)

会場 苫小牧市民会館 大ホール **定員** 600人

5 分科会 【貧困】 子どもの貧困 ~貧困に悩む子どもたち 皆でなくそう貧困の連鎖を~

内容 経済的困窮家庭で育つことは、子どもの学力や健康状態にまで影響し、長期的な貧困が、結果として貧困の連鎖につながります。貧困問題がクローズアップされる中、経済的困窮状態におかれている子どもに「何が出来るか」について考える必要があります。苫小牧で起きている貧困の実情について学び、講演・取組の紹介や、討論をきっかけとして、私たち一人ひとりができることを探ります。

出演者 シンポジウム

講師兼コーディネーター	松本伊智朗	北海道大学大学院教育学研究院教授
シンポジスト	辻川 恵美	木と風の香り代表
シンポジスト	藤沢紀世安	錦岡未来塾アシスト代表
シンポジスト	伊藤 裕司	室蘭高泉学園児童養護施設わがす学園総合施設長

会場 苫小牧市文化交流センター **定員** 360人

6 分科会 【高齢者の生きがい】 「自分のために地域のためにできること」 ~つながろう あなたも わたしも~

内容 高齢社会を迎え、健康であるにもかかわらず、生きがいを持てなくなっている人、人と接することができず孤立状態になっている人が少なくありません。1人でも多くの高齢者の方が、いきいきと楽しく地域で暮らしていくために、必要なもの、私たちにできることは何か。それぞれの立場での生きがいを見つけるためのヒントを、個人や地域の身近な目線から皆さんと一緒に考えます。

出演者 シンポジウム

コーディネーター	小倉 正哉	苫小牧市社会福祉協議会地域福祉課長・ボランティアセンター長
アドバイザー	奥田 龍人	NPO法人シーズネット代表
シンポジスト	木村 友信	花見商店会会長
シンポジスト	伊藤 靖代	苫小牧市東包括支援センター社会福祉士・認知症地域支援推進員
シンポジスト	榎本 洋江	苫小牧市社会福祉協議会地域福祉課長補佐

会場 苫小牧市民活動センター **定員** 130人

会場：

苫小牧市民会館④⑪ 苫小牧市文化会館⑦ グランドホテルニュー王子①⑨⑩ 苫小牧市文化交流センター⑤
苫小牧市民活動センター⑥ 苫小牧市美術博物館③ 苫小牧市立苫小牧東小学校② 苫小牧市役所⑧

7
分科会

【平和】
若者から語りはじめる平和と未来
～つながり、共感し、一緒に考え、それぞれの一步を～

内容 女性の学ぶ権利が十分に保障されていないアフガニスタンで生命の危険と隣り合わせで学ぶ女子学生、米軍基地の負担が重くのしかかる沖縄の高校生、そんな若者たちの思いを受け止め、苫小牧の高校生は何を語るのか？
参加したみなさんとともに、21世紀にこそすべての人が平和で人間らしく暮らせる世界を実現するために、私たちが何からはじめたらよいのかを一緒に考えます。

出演者		シンポジウム
コーディネーター	清末 愛砂	室蘭工業大学准教授
シンポジスト	アフガニスタンの女子学生 2名	
シンポジスト	沖縄の高校生 2名	
シンポジスト	苫小牧の高校生 2名	

会場	苫小牧市文化会館	定員	500人
----	----------	----	------

8
分科会

【ダイバーシティ】
「働いて生きる」～障がい者雇用の観点から～

内容 ダイバーシティ（多様性・多面性）は、どのように企業や社会の中で認知され、実践されているのでしょうか。共に働き、共に生き、互いに支え合う社会の実現のために、ダイバーシティを認め、受け入れていくことの大切さを伝えたいと思います。多彩な顔ぶれで、これまで、そして、これからも真剣に向き合っていく覚悟を持って、熱い思いを語ります。心に深く届くメッセージを受け取ってください。

出演者		シンポジウム
講師兼シンポジスト	西村 公子	㈱エフビコ 執行役員総務人事副本部長
コーディネーター	棒手由美子	苫小牧市保健センター専務理事
シンポジスト	木村 泰子	元大阪市立大空小学校校長
シンポジスト	佐々木あゆみ	ワーカースコープ北海道事業局長

会場	苫小牧市役所 9階会議室	定員	80人
----	--------------	----	-----

9
分科会

【教育】
今、個性を認め、未来を育む教育とは何か？
～子どもたちの夢をつなぐミッション～

内容 子どもは未来を創る宝物！弱者や障がい者への差別・偏見・いじめなどが、学校、家庭、社会における平等意識の欠如が起因となっていると認識されてきました。子どもが人権や平等の大切さに気づき、寛容性の熟成や協調的な態度を育成する場として「学校教育」はどうあるべきか。子どもの夢を未来につなぎ、一人ひとりの個性や多様性が認められ尊重される社会の実現を目指します。

出演者		パネルディスカッション
コーディネーター	中橋 理子	札幌市発寒南小ミニ児童会館館長
パネリスト	加藤久美子	特定非営利活動法人にわとりファミリー副理事長
パネリスト	舟山 智洋	小学校教諭
パネリスト	浅利圭一郎	報道関係者
パネリスト	大澤 ちほ	アイスホッケースマイルジャパン主将

会場	グランドホテルニュー王子 若草の間	定員	100人
----	-------------------	----	------

10
分科会

【健康と食育】
まだ間に合う！今の大人に食育を！
～将来を担う子どもたちへ…現代社会の健康を考える～

内容 あなたは次の言葉をどれくらい知っていますか？
外食・中食・内食・共食・個食・孤食・子食・小食・固食・濃食・粉食・戸食・虚食… 老若男女が自らの「食」を考え、自らの「食」を選ぶことができる、それが現代の食育。ここでは、将来を担う子どもたちや、自分自身のために、「時短術と食」、「スポーツと食」、「病気の予防と食」など、「食」の大切さから健康と一緒に考えます。

出演者		パネルディスカッション
コーディネーター	荒川 義人	札幌保健医療大学保健医療学部栄養学科学科長教授・農学博士
パネリスト	青山 則晴	フードプロデューサー
パネリスト	川畑 盟子	元市立室蘭総合病院管理栄養士
パネリスト	渡部 睦実	北海道コンダラー札幌しまくろ調理スタッフ・アスリートフードマイスター

会場	グランドホテルニュー王子 若草の間	定員	200人
----	-------------------	----	------

11
分科会

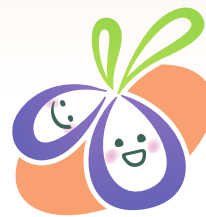
【日本の「男女(みんな)」よ 幸せになろう】
平等社会をめざす
つながろう 夢は必ずかなう

内容 北の大地でふんばる苫小牧男女平等参画推進協議会による協働の街づくりに向けた研修、企画、実践の活動実績（とまこまいモデル）の発表、ディスカッションのほか、各地の現状と課題をワークショップの中で共有し、今後の活動につながるヒントを考えます。

出演者		ワークショップ
コーディネーター	小林千枝子	国立女性教育会館
パネリスト	高橋 雅子	日本女性会議2017とまこまい実行委員長
パネリスト	三上 順子	幼稚舎あいか園長
パネリスト	小野千恵子	苫小牧市男女平等参画推進センター長

会場	苫小牧市民会館 小ホール	定員	200人
----	--------------	----	------

ロゴマーク



日本女性会議
2017とまこまい

苫小牧市の木の花ハスカップは、夏に1.5センチほどの甘酸っぱい紫色の実を付けます。その大きさや味は、一つひとつ違いますが、どれも同じハスカップです。みんなが同じ人間として同じ権利を持ち、能力や個性が十分に発揮できる社会になってほしいという願いを込めています。

10月14日(土)

9:30～11:30 分科会 (受付 9:00～)
※詳細は中面をご覧ください
12:30～12:50 アトラクション
13:00～13:50 特別講演
14:10～14:30 分科会報告
14:30～16:00 記念シンポジウム
16:00～16:30 閉会式

分科会

19:30～11:30 (受付 9:00～)

会場 苫小牧市民会館

アトラクション

12:30～12:50

特別講演

13:00～13:50



渡る世間は嘘ばかり… “格差社会を打ち破る”

～思考停止の世の中、あきらめないで本質をつく～

“すべての子どもには無限の可能性がある”

障がいの有無を越えて、一人ひとりの個性が活かされ、生きがいを感じながら生活できる男女平等参画社会の大切さについて、子どもの可能性を信じ、家族に寄り添い、決してあきらめない姿勢で取り組んできた、小児脳神経外科医としてのこれまでの経験をもとにしたお話をさせていただき、参加者の皆さんに“大人変われば まち変わる”ことを感じていただきます。

高橋 義男

とまこまい脳神経外科、岩見沢脳神経外科、大川原脳神経外科病院、別府町立病院の小児脳神経外科部長

分科会報告

14:10～14:30

分科会の設定理由と分科会で話し合われた内容をまとめて報告します。

記念シンポジウム

14:30～16:00



「とまこまい発 男女平等参画社会を語る」

～輝くオールとまこまい“市民・団体の力+企業の力+行政の力”～

男女平等参画社会の実現には、市民・団体、企業、行政がそれぞれの役割を認識し、責務を果たし、相互に連携することが重要です。日本女性会議を開催する“北の大地”から、これまでの歩みとこれからの決意を語り、地域で実践するためのメッセージとして、全国へ発信します。

シンポジスト

高橋 雅子

日本女性会議2017
とまこまい実行委員長

シンポジスト

出光興産株式会社

シンポジスト

苫小牧埠頭株式会社

シンポジスト

岩倉 博文 苫小牧市長

コーディネーター
神田 道子
東洋大学 名誉教授

閉会式

16:00～16:30

会場までのアクセス

10月15日(日)

※10月13日、14日発のコースもございます



エクスカーショ

エクスカーションについて

- 旅行代金はお一人様あたりの代金(税込)です。
- 大会用エクスカーションは(株)JTB北海道苫小牧支店が企画・実施する募集型企业旅行(コース番号1を除く全コース添乗員同行)です。参加申込書裏面に詳しい旅行条件を記載しておりますので、事前にご確認の上、お申し込みください。

- エクスカーション後、新千歳空港よりお帰りになる場合は、時間に余裕をもって便の手配をお願いします。
- お申込みは申込受付順とし、満員になり次第締切とさせていただきます。
- 申込人員が最少催行人員に満たない場合は旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日前までに旅行中止のご通知をいただきます。
- 見学ルートの順番は入れ替わる可能性があります。

1 苫小牧の発展を支え続ける 王子製紙苫小牧工場見学ツアー 午前コース

1910年(明治43年)、当時の最新の設備と技術を取り入れた工場は、東洋一と称され、王子の基盤づくりに大きく貢献。この生産拠点は、苫小牧発展の歴史と切り離すことはできず、地域と共に歩んだ100年超といえる。

【日 程】 10月13日(金) 【食 事】 なし
【旅行代金】 お一人様 無料 【発着時間】 10:00~11:00
【募集人員】 40名(最少催行人員10名) 【添 乗 員】 全行程同行

王子製紙苫小牧工場 現地集合・現地解散

2 森と湖の世界はまるで絵本の世界… ホテルニドムで過ごすエレガントな時間 日帰りコース 森のフレンチとリース作り体験

多くの野鳥、野生生物が生息する湿地帯・勇払原野の中にある「HOTEL NIDOM(ホテルニドム)」。森と湖が広がる幻想的な世界の中、ガーデン見学やリース作りをお楽しみいただいた後、四重奏を聞きながらのスペシャルランチ「森のフレンチ」をご堪能いただけます。

【日 程】 10月15日(日) 【食 事】 昼1回
【旅行代金】 お一人様 9,800円 【発着時間】 10:00~16:00
【募集人員】 40名(最少催行人員20名) 【添 乗 員】 全行程同行

JR苫小牧駅北口====
ホテルニドム(昼食・リース作り)====道の駅ウトナイ湖====
新千歳空港

3 アイヌ文化に触れる大人の社会見学と 地元人気グルメを堪能 白老ポロトコ タンと白老牛「いわさき」ランチ 日帰りコース

アイヌ語で「大きい湖の集落」という意味にあたるポロトコタンは、昭和40年代現在地にかつてのアイヌの家並みを再現し、町立の北海道を代表する博物館のひとつとなっています。ランチは北海道のブランド牛「白老牛」を人気レストラン「いわさき」でお召し上がりいただけます。

【日 程】 10月15日(日) 【食 事】 昼1回
【旅行代金】 お一人様 9,500円 【発着時間】 9:30~15:00
【募集人員】 40名(最少催行人員10名) 【添 乗 員】 全行程同行

JR苫小牧駅北口====
白老ポロトコタン(ムックリ演奏体験、古式舞踊見学)====
白老牛いわさき(昼食)====白老たまごの里マザース====新千歳空港

4 苫小牧の食文化・産業に触れる旅 苫小牧産業観光とノーザンホースパーク 日帰りコース

必要な石油を安定的に供給する体制を整え、くらしや経済の安心を支える北海道石油協同備蓄(株)や、北海道の食を最先端技術で支えるJファームを見学します。午後からは、約15万坪の広大な敷地の中に約80頭の馬が生息する「馬のテーマパーク」、ノーザンホースパークを訪れます。

【日 程】 10月15日(日) 【食 事】 昼1回
【旅行代金】 お一人様 8,300円 【発着時間】 8:30~15:00
【募集人員】 40名(最少催行人員20名) 【添 乗 員】 全行程同行

JR苫小牧駅北口====ぶらっとみなと市場====石油備蓄基地見学====
Jファーム====ノーザンホースパーク====新千歳空港

5 ハドロサウルス科全身骨格で話題 恐竜とししゃもの町むかわ観光 日帰りコース

国内最大級・ハドロサウルス科の全身骨格発掘に沸くむかわ町穂別地区で標本見学を。その後は古代の海の世界が再現されている野外博物館や地球の歴史にふれる地球体験館を見学し、ご昼食にはむかわ町名産のししゃもをお召し上がりいただけます。

【日 程】 10月15日(日) 【食 事】 昼1回
【旅行代金】 お一人様 9,800円 【発着時間】 8:30~15:00
【募集人員】 40名(最少催行人員20名) 【添 乗 員】 全行程同行

JR苫小牧駅北口====穂別博物館・野外博物館・地球体験館====
昼食====ばぼんた市場====新千歳空港

6 閉会式終了後、会場から直行! 登別温泉とアイヌ文化&グルメを味わう2日間 1泊2日コース

人気の登別温泉へお泊りいただき、1泊2日のコースです。2日目には北海道の先住民族アイヌの歴史と文化を紹介する野外博物館「白老ポロトコタン」へご案内。お昼は北海道を代表するブランド牛「白老牛」をお楽しみください。

【日 程】 10月14日(土)~15日(日) 【食 事】 朝1回、昼1回、夕1回
【旅行代金】 お一人様 25,800円(4~5名1室利用) 【発着時間】 1日目 17:00発
※3名1室+1,000円、2名1室+2,000円 2日目 14:30着
【募集人員】 40名(最少催行人員20名) 【宿 泊】 登別万世閣
【添 乗 員】 全行程同行

<1日目>苫小牧市内====登別温泉(泊)
<2日目>登別温泉====地獄谷====白老ポロトコタン(ムックリ演奏・古式舞踊見学)====白老牛いわさき====ウトナイ湖====新千歳空港

7 北海道新幹線開業に沸く函館の 人気スポットを巡る 函館ハイライト 充実の2日間 1泊2日コース

横浜・長崎と並び日本で初めて国際貿易港として外国との交易を始め、西洋の影響を受けた建物や街並みが多く残るレトロな街、函館の名所やグルメスポットを効率よく巡り、お泊りは函館の奥座敷・湯の川温泉でおくつろぎください。

【日 程】 10月15日(日)~16日(月) 【食 事】 朝1回、昼1回、夕1回
【旅行代金】 お一人様 38,800円(4~5名1室利用) 【発着時間】 1日目 9:00発
※3名1室+2,000円、2名1室+4,000円 2日目 14:30着
【募集人員】 40名(最少催行人員20名) 【宿 泊】 花びしホテル(本館)
【添 乗 員】 全行程同行

<1日目>苫小牧駅北口====大沼公園(昼食)====元町教会群/外国人墓地====
五稜郭公園====湯の川温泉====夕食後の函館山夜景====湯の川温泉(泊)
<2日目>湯の川温泉====トラピスチヌ修道院====金森赤レンガ倉庫====函館朝市
====函館空港====新函館北斗駅

8 雄大な自然をめぐる阿寒で雄大な 丹頂鶴と湿原ウォーキングを楽しむ2日間 1泊2日コース

道東方面へ足を延ばすコースです。マリモの生育で有名な阿寒湖畔の温泉宿を拠点とし、日本の象徴ともいえる美しい丹頂鶴が住む大自然の釧路湿原を歩いて楽しめます。昼食には炭火焼炉で地元の海産物を味わい、「勝手井」で有名な和商市場での海産物ショッピングもお楽しみいただけます。

【日 程】 10月15日(日)~16日(月) 【食 事】 朝1回、昼1回、夕1回
【旅行代金】 お一人様 42,800円(4~5名1室利用) 【発着時間】 1日目 8:30発
※3名1室+2,500円、2名1室+5,000円 2日目 15:30着
【募集人員】 40名(最少催行人員20名) 【宿 泊】 あかん遊久の里鶴荘(本館)
【添 乗 員】 全行程同行

<1日目>苫小牧駅北口====道の駅阿寒丹頂の里(昼食・ツルセンター)====
阿寒湖遊覧船====阿寒湖温泉(泊)
<2日目>阿寒湖温泉====釧路湿原北斗展望台と木道ウォーキング====釧路市内炉端
焼き(昼食)====和商市場====釧路駅====釧路空港

宿泊について

旅行代金は「1泊朝食付き・税サービス料込み」のお1名様あたりの料金です。

「参加申込書」の宿泊欄にご希望ホテルの下記「申込番号」を記入してお申し込み下さい。

※最小催行人数：1名（添乗員は同行いたしません）

MAP

No.	ホテル名	客室タイプ	申込番号	料金(1泊朝食付)	アクセス
1	グランドホテルニュー王子	シングル	A-1	12,800円	JR苦小牧駅より 徒歩約5分
		ツイン	A-2	11,500円	
2	ドリーミン苦小牧	シングル	B-1	9,500円	JR苦小牧駅より 徒歩約3分
		ツイン	B-2	8,300円	
3	ウィングインターナショナル苦小牧	シングル	C-1	9,500円	JR苦小牧駅より 徒歩約2分
		ツイン	C-2	8,300円	
4	コンフォート苦小牧	シングル	D-1	9,500円	JR苦小牧駅より 徒歩約10分
5	ホテルルートイン苦小牧駅前	シングル	E-1		JR苦小牧駅より 徒歩約1分
6	スマイルホテル苦小牧	シングル	F-1	8,000円	JR苦小牧駅より 徒歩約8分
		ツイン	F-2	7,500円	
7	東横INN苦小牧駅前	シングル	G-1	6,500円	JR苦小牧駅より 徒歩約7分
		ツイン	G-2	5,000円	
8	ホテル杉田	シングル	H-1	7,000円	JR苦小牧駅より タクシー約5分
		和室(2~3名)	H-2	6,500円	
9	ホテルグランテラス千歳	シングル	I-1		JR千歳駅より タクシー約5分
		ツイン	I-2		
10	ウィングインターナショナル千歳	シングル	J-1	8,500円	JR千歳駅より 徒歩約7分
		ツイン	J-2	8,000円	
11	ANAクラウンプラザ千歳	シングル	K-1		JR千歳駅より 徒歩約7分
		ツイン	K-2		
12	ルートイン千歳駅前	シングル	L-1		JR千歳駅より 徒歩約3分
		ツイン	L-2		
13	千歳エアポートホテル	シングル	N-1		JR千歳駅より 徒歩約2分
		ツイン	N-2		
14	千歳ステーションホテル	シングル	M-1		JR千歳駅より 徒歩約2分 直通路
		ツイン	M-2		

日本女性会議 2017 とまこまい

参加費

- ◎ 大会のみ参加 お一人様 **3,500円**
- ◎ 大会と交流会参加 お一人様 **8,500円**

参加申込手順

- ◎ 参加申込期間
6月15日(木)～8月31日(木)
- ◎ 参加費振込期日
9月15日(金)
- ◎ 参加証等送付
9月29日(金)

領収証について

領収証が必要な場合は参加申込時に宛名・日付・金額内訳など必要事項をメールまたはFAXにてお知らせください。

申込手続

- ① インターネット専用フォームでのお申込み
「日本女性会議2017」のホームページよりお申込みいただけます。
※期間内はホームページより変更・取消が可能です。
※分科会やホテルの状況をリアルタイムで表示されますので、その場で予定(分科会や宿泊先ホテル)を確定させる事が可能です。
- ② FAX又は郵送によるお申込み
別紙「参加申込書」に必要事項をご記入頂き、下記申込先へ郵送またはFAXにてお申し込みください。
※参加申込書は大会ホームページからもダウンロードできます。
※申込書のコピーをお手元に残してください。変更・取消の際に必要になります。
※ご宿泊先・分科会のお知らせは9月29日以降となります。予めご了承ください。

インターネット・郵送・FAX申込期限
2017年8月31日(木)

その他の申し込み

- 昼食 10月13日(金)・14日(土)
各日 1,000円 当日の販売はございません

受け渡し場所 10月13日(金) 苫小牧市民会館
10月14日(土) 各分科会会場

- シャトルバス/13日の新千歳空港～苫小牧市民会館、14日の大会終了後に苫小牧市民会館～新千歳空港までのシャトルバスを運行いたします
※シャトルバスご利用の際の航空便は余裕をもった便でお手配をお願いいたします。(9:30～10:00着目安)

設定日	区 間	料金(片道)	運 行 時 間	備 考
10/13	新千歳空港～苫小牧市民会館(約40分)	1,000円	10:30～11:00の間 (随時運行)	※満席になり次第、出発いたします。 ※最終出発は11:00を予定しています。
10/14	苫小牧市民会館～新千歳空港(約40分)	1,000円	16:30～17:00の間 (随時運行)	※満席になり次第、出発いたします。 ※最終出発は17:00を予定しています。

- 大会報告書 1,000円(送料・税込)
講演やシンポジウム、分科会等の内容を記録した大会報告書を販売します。
発送は、平成30年2月～3月を予定しています。

- 託児(無料) 1歳～小学生まで
10月13日(金)・14日(土)の大会開催中は、苫小牧市民会館にて託児をご利用できます。また、申し込みされた方には、別途、持ち物などについてご連絡します。なお、当日の申し込みはできません。

お申込み・お問い合わせ

株式会社 **JTB北海道** 札幌法人事業部 大会オペレーションセンター

TEL: 011(221)4800/FAX: 011(222)5102

〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目1-2 アーバンネット札幌ビル8階

[e-mail] jtb_spktaikai@hkd.jtb.jp

[受付時間] 9:30～17:00(土曜・日曜・祝日休業) 総合旅行業務取扱管理者: 田中 崇浩

ACCESS

- 空港 秋田空港から1時間5分、羽田空港から1時間30分、中部国際空港から1時間40分、大阪国際空港から1時間55分、福岡空港から2時間15分、那覇空港から3時間15分→新千歳空港
- 鉄道 東京駅から新函館北斗駅まで4時間2分、新函館北斗駅から苫小牧駅まで2時間40分
- 海路 八戸・大洗・仙台・名古屋・秋田・新潟・敦賀→苫小牧

